



2021 日本のうたごえ祭典 in ひろしま

企画ニュース②

発行 2021.7.27
祭典企画委員会

長野 祭典参加の取り組み始まる

東京オリンピックが始まり、コロナ感染がまた急拡大しています。全国の皆さんには祭典に向けてご苦勞をおかけしています。

こんな状況の中で、各地で取り組みが始まっています。

コロナ禍のもとで開く祭典は、全国合同曲の演奏参加の仕方についても、これまでの取り組みとは違う形をお願いしています。

「こわしてはいけない」「みるく世がやゆら」「鳥の歌」等の合唱曲については、これまでに演奏経験のある合唱団に、演奏や取り組みの取りまとめをお願いしています。

その中の一つ「こわしてはいけない」の中心長野から、取り組みの様子を伝えていただきました。（渡辺亨則さん・田島由子さん・伊藤常雄さん）

長野県うたごえ学校開催！

7月18日、コロナ禍の中、長野県うたごえ学校を開き、参加者は長野、上田、松本、伊那、飯田の全県から、そして青年から計30数名となり、広島祭典に向けた一歩を踏み出せたと思います。

練習曲は祭典全国合同曲である、合唱組曲「こわしてはいけない」～無言館を歌う～から、第2章「こわしてはいけない」・第6章「抱きしめよう」と「リナッシェロ リナッシェライ」でした。（指揮 渡辺亨則さん、ピアノ 田島由子さん）

広島祭典を目指して、これから機会あるごとに周囲に伝え、固めていく作業をお願いしていきます。9月18～20日に行われる『信州戦争展』では、18日に無言館の館長窪島誠一郎さんが足を運んでくださり、講演していただく予定となっており、「こわしてはいけない」を演奏する計画です。



（写真：
長野合唱団
木村さん撮影）

長野県うたごえ協議会 議長 伊藤常雄さんからの呼びかけ

うたごえ 東京・神戸・広島・佐賀 各位

「“こわしてはいけない” 広島祭典合唱団」（仮称）結成への協力依頼について
「2021 日本のうたごえ祭典 in ひろしま」記念音楽会「ピースウェーブコンサート」で
演奏する“こわしてはいけない”について、祭典実行委員会から演奏団体案が示され、
長野が取りまとめを依頼されました。

長野県うたごえ協議会ではこれをお受けすることとしましたので、まずは企画案で示された各県（団体）に対し、ご挨拶と最初のお願いを申し上げます。

2章「壊れそうになっても こわしてはいけない私たちの憲法」、6章「今 ここに
生きている 人間ぜんぶ 抱きしめよう」・・・コロナ禍の中2年ぶりに開催する祭典
において、全国合同でうたごえを想像するだけで、涙が出そうです。日うた祭典にお
いて“こわしてはいけない”を取り上げてくれたひろしまの皆さんに、敬意と感謝を
申し上げます。

広島 祭典合同練習 進む …集まって歌える喜びかみしめ

緊急事態宣言とその後の感染防止対策が終了し、7月4日、ようやく祭典合同練習会が再開しました。続いて7月18日、25日と、集まって歌える喜びをかみしめながら、大合唱の迫力を味わっています。

青山邦恵さんのヴォイスレーニングで始まり、松本憲治さんや高田龍治さんの指揮、田中香月さん、三好敬子さんのピアノ伴奏で「リナッシェロ リナッシェライ」「ひろしまへ」「広島 愛の川」「We Are The World」「大地讃頌」「フィンランディア」の練習が進んできました。

現在約80名が合唱団員の登録をしていますが、さらに多くの仲間を増やそう、まずは100人の歌い手にしようと、組織・宣伝委員会のメンバーが中心になって声掛けを進めています。

12月の祭典まで、ほぼ毎週のペースで合同練習会をもち、それとは別に、女声合唱、男声合唱、青年のうたごえ…などの特別練習会を計画しています。

練習計画表をよくご覧になり、周りの方々にもお誘いの声を掛け、ふるって参加をお願い致します。

7月25日

中央公民館にて

